LPガスの保安業務

ご存知でしたか。LPガスでは、さまざまな保安サービスを行っています。

LPガスを安全にお使いいただくために、法律に基づき定期的に周知や消費者宅の点検・調査の保安業務を行いますが、認定を受けた保安機関に販売店が委託している場合があります。保安機関が訪ねた時はご協力をお願いいたします。

☑周知

●使用上の注意点や事故を起こさないための情報などを定期的に文書でお知らせします。

年1回（または2年に1回）行います。

☑緊急時連絡と緊急時対応

●ガス漏れなどの時、すみやかに対応します。

緊急時の連絡先は夜間・休日も対応

緊急時は30分以内に無料対応

☑供給開始時点検・調査

●ガス器具も含めたLPガス設備全体の点検・調査を行います。

供給開始時に行います。

☑容器交換時等供給設備点検

●容器の転倒防止の確認など、容器周りの点検を行います。

容器の交換時に（または月1回以上）行います。

☑定期供給設備点検

●ガス漏れの有無など、調整器からガスメータの供給設備の点検を行います。

4年以内に1回行います。

☑定期消費設備調査

●ガス器具、給排気、ホース、配管などの消費設備の調査を行います。

4年以内に1回行います。

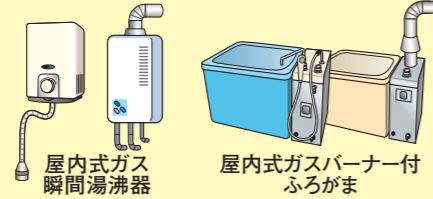
◎「保安業務」は無料で行います。「消費設備」の修理や改善が必要な時は有料となります。

お知らせ

「安全制度」をご存知ですか！（長期使用製品安全点検制度）

平成21年4月から製造・輸入する「特定保守製品」に点検制度が設けられました。特定保守製品を購入した場合は、「所有者登録」をしましょう。

屋内式ガス瞬間湯沸器

屋内式ガスバーナー付ふろがま

平成21年4月より前に製造された製品は法定点検の対象外ですが、お客様からのご依頼があれば法定点検に準じた点検を実施しています。点検費用は有料です。器具メーカーにご相談ください。

ガス器具の点検・修理の連絡先（記入欄）

※点検・修理の連絡先は、あらかじめ取扱説明書や器具メーカーのホームページ等で確認してください。

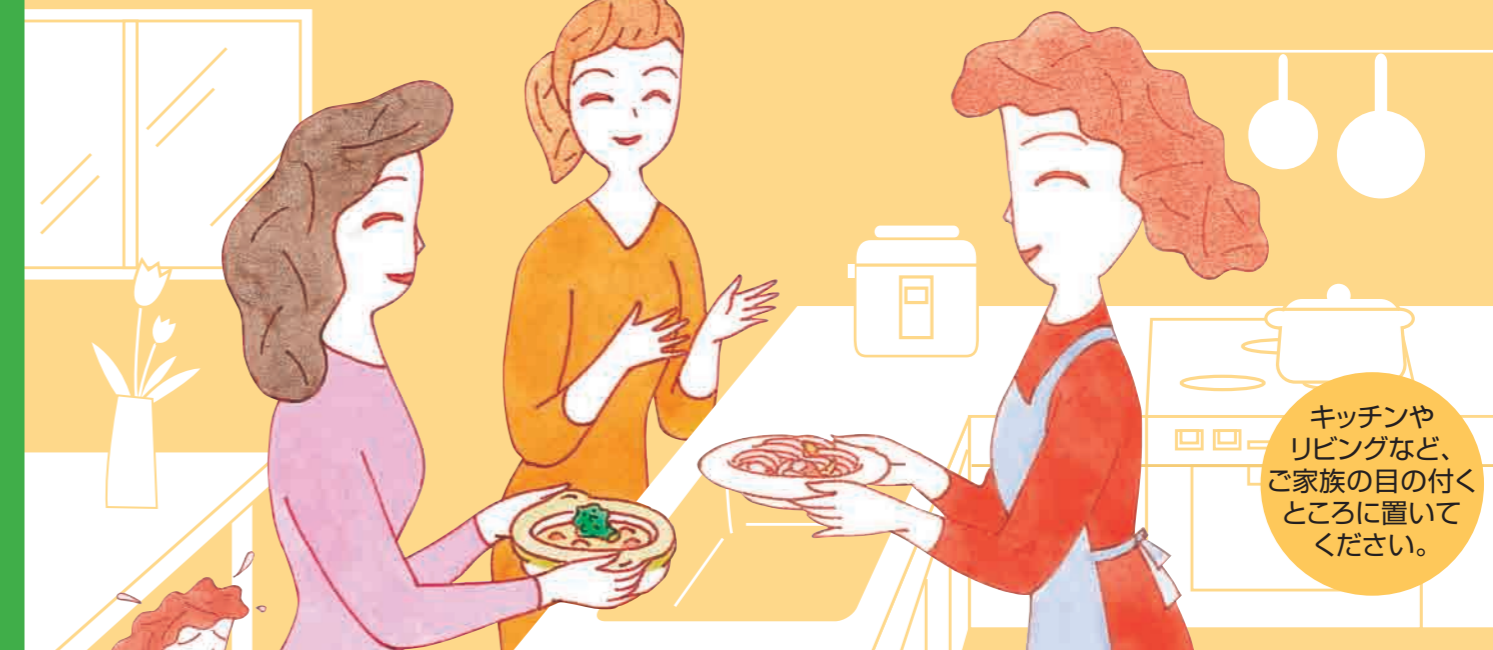
	品名・器具名	メーカー名	購入年月	点検・修理の連絡先
①				☎
②				☎
③				☎
④				☎

LPガス緊急時の連絡先	LPガス販売店名
連絡先: 電　話: 緊急時の連絡先は24時間無料で対応しています。	

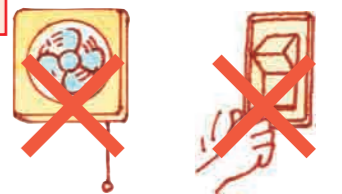
外国語版（英語・ポルトガル語・中国語・韓国語・スペイン語）もホームページでご覧いただけます。
LPガス安全委員会ホームページでも詳しい情報をご覧いただけます。http://www.lpg.or.jp/

LPガス安全委員会
2014.3

家庭用LPガス保安ガイド

安全・安心にお使いいただくために

ガス臭いと感じたら、その時の対応は！

火気は絶対使用しないで

●着火源となる裸火、換気扇、電気などのスイッチにも絶対手を触れないでください。
●電気のスイッチは切る時にも火花がでます。切ることもしないでください。

ガスを外に追い出して

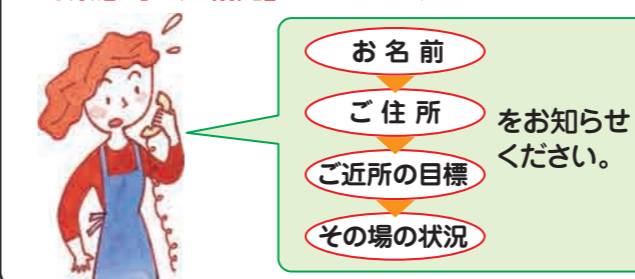
●戸や窓を大きく開けてください。

※LPガスは空気より重いため、低い所に溜まったガスにもご注意ください。

●すべての器具栓、ガスの元栓を閉めてください。

●容器バルブは必ず閉めてください。

ガス漏れの状況をすぐ連絡

●「緊急時の連絡先」に連絡してください。

お名前
ご住所
ご近所の目標
その場の状況
をお知らせください。

●「緊急時の連絡先」の指示に従ってください。
●安全確認が済むまでガスは使用しないでください。

◎緊急時の連絡先は、あらかじめ販売店に確認してください。
◎緊急時の連絡先は、24時間無料で対応しています。

LPガス安全委員会／経済産業省

より安全にお使いいただくために

日々、皆さまに行っていただきたい「☑安全チェックのポイント」！

●LPガス容器からガスメーターの出口までは「供給設備」と呼ばれ、LPガス販売店が責任を持って点検と維持管理を行います。
●ガスメーターの出口からガス器具までは「消費設備」と呼ばれ、法律上の管理責任は消費者の皆さまにあります。日常の点検・維持管理は、ふだんLPガスを使っている皆さまで行ってください。

◎室内に煙突(排気筒)が付いている湯沸器や風呂釜、安全装置の付いていないガス器具をお使いの皆さまは、販売店へご相談ください。

⚠CO中毒について！
燃焼器具は空気(酸素)が不足したままで使用していると不完全燃焼を起こし、CO(一酸化炭素)が発生します。COは毒性がとても強く少し吸い込んだだけでも頭痛・吐き気などかし、気がついた時には動けず死にいたる危険性があります。CO警報器の設置をおすすめします。

雪害対策のお願い
●雪で調整器やガスメータなどがこわれる恐れがあります。雪囲いや容器小屋の点検をお願いします。
●雪おろしの時は、LPガス設備に損傷を与えないよう注意してください。

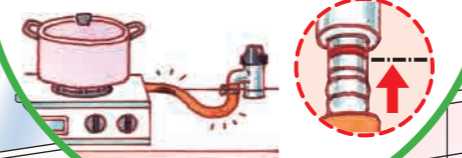
調整器　ガスメーター　LPガス　LPガス

くさりの2重掛けを推奨

●火気との距離は2m以上に！　2m超

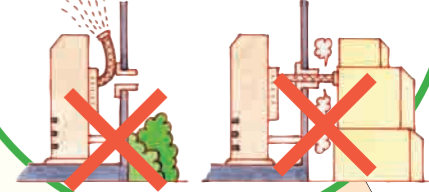
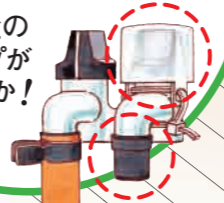
供給設備　消費設備

☑点火の確認 ☑点火の繰り返し・再点火 ☑立ち消え
●点火を確認しない事故が発生しています。必ず目で確認を！
●点火操作を繰り返して、器具に溜まったガスに引火する事故が発生しています。再点火する時はご注意を！
※乾電池が切れていると点火できません。
※器具が点火しにくい場合は、すぐに器具メーカーに点検を依頼してください。

☑ゴムホース(ゴム管)は
●焼けこげやひび割れができていないか！
●ガスの元栓の赤い線まで差し込まれてるか！
●ホースバンドでしっかり止まっているか！

☑換気の確認
●ガスを使う場合は換気を習慣に！

FF式ストーブをご使用の皆さまへ
☑屋外から給排気する燃焼機器は
●排気筒がはずれていないか！
●排気口がふさがっていないか！
●排気筒の先端が屋外に出ているか！

☑CO警報器は ☑ガス警報器は
●掃除機などの使用後は、必ず電源が元通りになっているか！
●コンセントが抜けていないか！
※警報器の交換期限は5年です。

☑使っていないガスの元栓は
●つまみは「閉」になっているか！
※つまみを間違ってあけてしまわないようガス栓カバーをつけておきましょう。
●ガスの元栓のゴムキャップがついているか！

ストーブ、ガスファンヒータをご使用の皆さまへ
●1時間に1〜2回、窓を開けて換気してください。

ガスが突然止まったら(ガスを再開するときの安全確認)
☑ガス漏れやガス臭いときは、ガスを使用せず、LPガス販売店か緊急時の連絡先に連絡してください。
☑ガス器具が損傷していたときには、ガスを使用せず器具メーカーに修理を依頼してください。
☑ガスがしゃ断された場合は、ガスメーターの表示を確認し復帰を行ってください。
※「圧力が低下した時」や「大量漏えい」のしゃ断表示の場合は、LPガス販売店か緊急時の連絡先に連絡してください。

ガスメーター(マイコンメーター)の機能と表示

■ガスしゃ断の機能
●長い時間ガスを使用したときやガス器具の消し忘れのとき、自動的にガスをしゃ断します。
●ガスを使用中に強い地震(震度5相当以上)が起きたとき、自動的にガスをしゃ断します。ガスを使用していないときは、ガスをしゃ断しない機能になっています。
●配管の折損やゴム管がはずれたときなど、大量のガスが流れたとき、自動的にガスをしゃ断します。

■ガスしゃ断時の表示
●ガスの流れや圧力などに異常があると、自動的にガスをしゃ断し、原因が表示されます。

長時間の使用又は消し忘れた時

地震が発生した時など

ガスの圧力が低下した時

ゴム管がはずれた時など

※ガス警報器とガスメーターが連動している場合、警報が鳴ったときも地震しゃ断と同じ表示になります。

ガスメーターの復帰方法

■次の手順で復帰操作を行ってください。

1

●器具栓をすべて閉めてください。
●使っていないガスの元栓が閉っていることを確認してください。

2

●左側の復帰ボタンを押してください。
●「ガス止」の文字が消えます。

3

●液晶の文字とランプが点滅します。
●1分間お待ちください。
※ランプが復帰ボタン部にあるものもあります。

4

●液晶の文字とランプが消えます。
●復帰完了です。
●ガスは使えます。

※復帰操作をしても復帰しない場合(再び「ガス止」表示が出る)は、復帰操作を繰り返さずLPガス販売店の点検を受けてください。

地震・火災・災害が起きたら
●避難するときやガスの臭いがするときは、ガスの使用をやめて、器具栓、ガスの元栓、ガスメーターバルブおよび容器バルブをすべて閉めてください。

ガス漏れや避難するとき

※家屋等に被害が発生した地域では、ガス漏れや容器の点検を順次行いますので、点検の際にはご協力をお願い申し上げます。

☑こんなときはすぐに連絡を！
●器具メーカーかLPガス販売店に、すぐ点検を依頼してください。
●点検・調査は無料で行いますが、修理や改善が必要なときは有料となります。

炎が安定しない　炎が黄色い　炎が赤い

使用中に消火した　爆発的に着火する　火移りしにくい　点火しにくい　点火しない

異常音をたてて燃える　ガスの臭いがする　運転中に排気ガスの臭いがする